

東洋ゴム工業株式会社（東証一部）による子会社ソフランリビング株式会社の株式100%の株式会社丸正（東証二部）への譲渡

（合意契約締結時期） 2002年2月

（当社の立場） 双方企業に提案し、東洋ゴム工業のアドバイザーとなる。

（案件の意義）

東洋ゴム工業は、グループ経営資源の『選択と集中』を進める中、ソフラン寝装品を販売する100%子会社であるソフランリビングの将来性に不安を感じ、そのあり方を模索していた。一方、丸正は和装・宝飾・アパレル・寝装の4事業を展開し、提携・M&Aの推進による業容の拡大を目指していた。このような両社に対し、本件を提案。ソフランリビングは丸正の子会社として寝装業界において生き残りを目指すこととなった。（丸正側のアドバイザーは大和SMB C株式会社。）